

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日 R5.6.23

担当 課名 環境農林課  
 グループ名 農林グループ(農業委員会)  
 記入者名

1 事業概要

(1)事業名	小川町元気な農業応援事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業
(4)第5次総振での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標	活力ある産業のまち(産業の振興)	①会計区分	一般会計		
②大項目	農林業	②財源区分	町単独		
③中項目	担い手の育成	③予算科目	款	6	項
④施策		④予算事業名	小川町元気な農業応援事業費		
⑤施策コード	6.1.3.0	掲載ページ	98	ページ	
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	小川町元気な農業応援事業費		
②根拠法令	小川町元気な農業応援総合補助事業実施要綱				
③事業期間	開始	平成28	年	4	月から
		終了	未定	年	月まで

2 事業の目的・対象及び内容

(1)目的(何のために行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)		
野菜等農産物のブランド化、高付加価値化を図り、地域に愛されるローカルブランド市場を構築する。	おがわ型農業の認証を推進し、おがわ農産物のブランド化に向けたプロモーションの実施、町内飲食店での利用拡大、おがわ型農業への転換及び促進支援、新規就農者受入れ支援等を行う。		
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)		
農地を有する農業者及び法人 販売農家	町民の食生活の中に日常的に「おがわ野菜」が取り入れられるとともに、飲食店において「おがわ野菜」メニューが開発され、小川町産農産物の魅力を内外の人が認知し、地域ブランドとして確立されている。		
対象数	257	単位	戸
(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など			
食の安全・安心、環境負荷低減に向けた取組を拡大し、有機農業等の循環型農業を推進することで持続可能な地域農業の確立を図る。			

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)

項目	(1)事業(内容)名称					
	小川町元気な農業応援事業費					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2)事業費内訳	委託料	4,199	2,499	1,637	993	500
	負担金及び補助金	4,856	2,618	2,580	2,600	3,300
	需用費	0	814	400	71	88
	その他	0	0	0	0	0
	直接事業費合計	9,055	5,931	4,617	3,664	3,888
(3)財源内訳	国庫支出金	2,574	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	6,481	5,931	4,617	3,664	3,888
	合計	9,055	5,931	4,617	3,664	3,888
(4)補助金名	地方創生推進交付金					
(5)人件費	投入職員数	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5
	年間人件費	4,630	4,583	4,577	3,771	3,849
(6)総事業費		13,685	10,514	9,194	7,435	7,737
	サービス量(戸)	298	257	257	257	257
	サービス単価	45.9	40.9	35.8	28.9	30.1
	(単位)	千円/販売農家1戸あたり				

4 指標の検証(活動指標・成果指標)		小川町元気な農業応援事業費				
指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算	
(1) 活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名		目標値				
		実績値				
		達成率				
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(2) 成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	新規就農者数 (総振目標指標p99) R7年度目標値 毎年度2人	目標値	人	2	2	2
		実績値	人	0	0	
		達成率	%	0.0	0.0	
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(3) その他指標に現れない成果						
令和4年度の新規おがわ型農業認証者9名。延べ認証者数79名。						

5 事業評価					
(1) 項目別評価					
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている
					2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である
					3 その他( )
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている
					2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である
					3 その他( )
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している
					2 他に有効な代替手段が見当たらない
					3 その他( )
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	1	1 サービス単価は減少している
					2 サービス単価を維持している
					3 その他( )
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている
					2 おおむね公平に分配されている
					3 その他( )
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている
					2 成果指標は、前年度より向上している
					3 その他( おがわ型農業認証者数は増加している。 )
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した
					2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した
					3 その他( )
(2) 総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)					
プロモーション活動や生産支援事業を通じ、おがわ型農業への理解も進み認証者は増加している。対外的なブランドイメージの確立は十分とは言えず、消費者等への認知度の拡大が課題である。					

6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合		
評価主体	(1) 一次評価 (担当課長)	(2) 二次評価 (政策推進課長)	(3) 最終評価 (町長)	
評価	1	2	2	
説明	生産者の所得拡大だけではなく、町外に町の魅力を発信し、移住・定住に結びつける。	おがわん農産物を町内外に発信し、おがわ型農業の魅力を上向きさせることで、新規就農者の確保と担い手の育成を行っていく。	後継者の育成及びおがわ型農業の確立を推進する。継続して事業に取り組み、「有機の里 小川町」の農産物をPRする。	